

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	茨城県	市町村名	古河市	大学名	
派遣日	令和 3年 8月 11日(水曜日) 古河市日本語指導加配校対応教員向け研修会 ～日本語指導が必要な児童を対象とした「特別の教育課程」と「授業作り」について～ 11:30～13:00 研修会会場等準備と事前打ち合わせ 13:15～13:30 受付 13:30～13:35 開講式 13:35～14:35 講義・演習1 DLAを使った日本語能力の把握 14:45～15:30 講義2 DLAの結果を生かした個別の指導計画づくり 15:30～16:15 講義3 JSLカリキュラムを生かした授業づくり 16:15～16:25 質疑応答 16:25～16:30 閉講式				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣 <input type="checkbox"/> 遠隔				
派遣場所	古河市小堤公民館 つつみ館 〒306-0231 古河市小堤1766 Tel:0280-98-5530				
アドバイザー氏名	群馬県大泉町立北小学校教諭 市川 昭彦				
相談者	古河市内日本語指導加配校対応教員(小学校5名、中学校1名) 古河市教育委員会日本語指導員(2名)、指導主事(1名)				
相談内容	日本語指導加配校対応教員に対して ・「特別の教育課程」の編成・実施に対する助言 ・「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」の概要説明・調査練習 ・DLAの結果を生かした個別の指導計画の立て方 ・個別の指導計画をもとにした実際の授業づくり 教育委員会日本語指導担当者に対して ・加配校対応教員に対しどのように助言指導を行うか ・加配校対応教員に対しどのように支援を行うか				
派遣者からの指導助言内容	・外国人児童生徒受入れにおける現時点での課題について ・「特別の教育課程」の編成・実施 担当者から担当者への連携が重要 日本語能力の把握が必要 ・「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」 概要説明(「はじめの一步」、「話す」「読む」「書く」「聞く」) 調査演習(実際に「読む」の評価をやる) ・DLAの結果を基にした個別の指導計画の立て方、様式への記入例など ・AU(文型)を用いたJSLカリキュラムについて 教科志向型JSLカリキュラム				

(様式 3)

	<p>トピック型 JSL カリキュラム JSL カリキュラムにおける 5 支援（理解支援、表現支援、記憶支援、自立支援、情意支援）</p> <ul style="list-style-type: none">・まとめ 外国人児童生徒の未来を育てていく我々の役目
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">・古河市の日本語指導が必要な児童生徒の約半数を日本語指導加配校対応教員が支援している状況を踏まえ、引き続き教育委員会としても加配教員に対しての継続的な研修を行っていく。・今回ご指導いただいた市川アドバイザーとの縁を大事にさせていただき、隣県ではあるが授業研究など一緒にさせていただければ、古河市の日本語指導も飛躍的に進歩するのではないかと考える。・今回 DLA について学んだが、少しずつ加配校で導入できるよう委員会の DLA 担当と連携しながら研修等を進めていく。

1 枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。